Top Interview どこまでも「患者思考」

最新の脳卒中治療で地域を支える

医療法人社団英明会

大西脳神経外科病院

受付時間 8:30～11:30／13:30～16:30　休診日 土・日・祝・年末年始
〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1
TEL.078-938-1238　FAX. 078-938-1236　http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

充実した人員と設備で地域の脳診療を支える

おおにし・ひでゆき●医学博士。奈良県立医科大学臨床教授。2000年12月、大西脳神経外科病院開院。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、第7回パンパシフィック脳神経外科学会会長、第18回日本臨床脳神経外科学会会長ほか。

理事長
大西 英之

脳卒中治療を中心として、20年以上にわたり兵庫県東播磨の地域医療に尽力してきた大西脳神経外科病院。脳神経外科全般に幅広く対応し、高度かつ迅速な救急医療の提供にも力を入れている。

同院が注力している治療の一つが脳血管内治療だ。血管に挿入したカテーテルを通じて病変を治療する方法で、従来の開頭手術よりも低侵襲な特長がある。実施には高度な技術が求められるが、同院では24時間365日対応可能な体制を整備している。

「日本脳神経血管内治療学会が技術や知識を認定した脳血管内治療専門医は5名在籍※し、正確な診断に欠かせないMRIも4台設置しています。人員や設備を脳神経外科に特化できるのは、単科病院ならではの強みです」と大西英之理事長は語る。

脳卒中の中でも特に患者の多い脳梗塞の治療では、t・PA静注療法や血栓回収療法にも常時対応。地域を支える脳卒中の医療拠点として、その役割を果たしている。

くが・よしひろ●医学博士。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本脳神経外科学会代議員ほか。

理事・院長・医務部長・脳神経外科主任部長・回復期リハビリテーションセンター長
久我 純弘

「時間との闘いである脳卒中治療をより迅速に進めるため、2020年7月には最新の血管撮影装置も導入しました。CTによる診断や脳血流量の測定が同時に可能なため、従来の半分程度の時間（約30分）で治療を開始できます」と脳卒中センター長の大西宏之医師は話す。

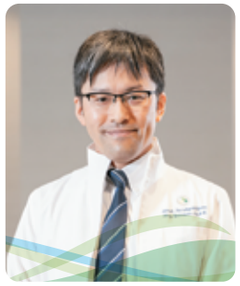
救急以外では、患者数の多い脳動脈瘤の中でも、治療が難しく高度な技術も求められる大型動脈瘤を対象とした、最新のフローダイバータースステント治療にも対応している。「開頭手術が必要な症例もあるため、脳血管内治療と開頭手術の各スペシャリストが毎朝のカンファレンスで密に連携し、最適な治療提供を心がけています」（大西宏之医師）

各種のリハビリや脊椎・脊髄治療にも注力

後遺症が残ることも多い脳卒中の治療では、リハビリテーションも重要だ。高齢者の脳卒中では、治療後に誤嚥性肺炎を生じる場合も少なくない。同院では、急性期から呼吸期リハビリを積極的に行い、その予防に力を入れている。

「回復期リハビリ病棟を設置している当院では、急性期から回復期まで一貫したフォローが可能です。途切れないリハビリはもちろん、急性期からのスタッフとも適宜連携し、検査や治療も迅速に行うことができます」と回復期リハビリテーションセンター長でもある久我純弘院長は解説する。

脳卒中以外にも、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症など、脊椎・脊髄疾患の治療にも注力している同院。脊椎・脊髄センター長の山本慎司医師は「手術では必ず内視鏡や顕微鏡を用い、安全で低侵襲な治療を心がけています」と話す。



やまもと・しんじ●医学博士。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医ほか。

脳神経外科部長、脊椎・脊髄センター長
山本 慎司

「多くの患者さんが頚椎や腰椎の椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄、椎体骨折に対する治療希望で来院されます。高齢の患者さんが多いため、できるだけ体に負担をかけない治療で早期の社会復帰を目指すことが大切で、手術も可能な限り低侵襲な方法で対応しています」（山本医師）

手術を行っても改善しなかった難治性疼痛に対しては、脊髄刺激療法（SCS）などのさまざまな方法で治療を提供している。

「脳卒中と脳腫瘍・頭蓋底外科、脊椎・脊髄、回復期リハビリテーションについては専用のセンターを設置し、高度な医療提供に努めるとともに、合同カンファレンスも毎朝開催して、患者さん一人ひとりを病院全体でサポートしています」と大西英之理事長は強調する。

新型コロナウイルスへの対応でも、唾液などからウイルスの遺伝子を検出するLAMP検査を導入するとともに、スタッフの配置や救急搬送の動線なども見直し、感染拡大が生じない病院作りに努める同院。今後も、最新の医療提供ときめ細かなフォロー体制で、地域医療を力強く支えていくだろう。

取材／杉本富士孝

主な手術実績（2020年1月～12月）

- **脳卒中の治療総数 1388件（内科的治療も含む）**
  - ●血栓溶解剤t-PA 41件　●開頭手術 137件
  - ●血管内治療手術 304件
- **脳動脈瘤 131件（脳動脈解離も含む）**
- **破裂脳動脈瘤の手術総数 38件**
  - ●血管内治療手術 28件　●開頭手術 10件
- **未破裂脳動脈瘤の手術総数 93件**
  - ●血管内治療手術 68件　●開頭手術 25件
- **頸動脈狭窄症の治療総数 87件**
  - ●頸動脈ステント留置術 87件
- **脳腫瘍切除術 57件（生検手術は含まず）**
- **脊椎・脊髄変性疾患、外傷性脊髄損傷 164件**
- **総手術件数 816件**

※2021年1月現在

おおにし・ひろゆき●医学博士。大阪医科大学臨床教育准教授。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医ほか。

脳神経外科部長・脳血管内治療主任部長・脳卒中センター長
大西 宏之